

きいきい kii-kii

意味

体のぐあい。気分。病気。

きいきい

意味

堅い物が擦れ合って発する甲高い音。

用法

「〜と鳴く」「〜声」＝甲高く鋭い声。

・類似：きゅうきゅう、ぴいぴい

きき 奇々 kii-kii

意味

非常に珍しいようす。とても不思議なようす。

用法

「〜怪々」＝とても奇怪

きき 嬉々 kii-kii

意味

とてもうれしそうなようす。喜び楽しむようす。

用法

「〜として喜ぶ」

きき 輝々／暉々 kii-kii

意味

照り輝くようす。

きき 気々 kii-kii

意味

人々のそれぞれの気質。あの人、この人の性格や資質。

用法

・類似：こころごころ、おもいおもい

きききき 聞き聞き kiki-kiki

意味

聞きながら。

用法

「ラジオを～寝てしまった」

・類似： きくきく

きぎ 木々 ki-gi

意味

たくさんの木。あの木、この木。

用法

「～に囲まれて」「～の木立」

きくきく kiku-kiku

意味

物の節目などが折れ曲がっているようす。

きくきく 聞く聞く kiku-kiku

意味

聞きながら。

用法

「ラジオを～寝てしまった」

・類似： きききき

きしきし kishi-kishi

意味

軋しんで鳴る音。堅いものがすれて発する小さな音。

説明

《語源》軋む

用法

「～と軋む」

・強度： ぎしぎし > きしきし
・類似： ぎしぎし，きゅうきゅう，きりきり

きたきた 来た来た kita-kita

意味

(期待や待望していた状況で) 到着した時の感嘆詞。

用法

「おお～」 「やっとな」 「～皆見い皆見い」 = 北と南をしゃれた駄洒落)

きちきち kichi-kichi

意味

(1) とてもきっちりしているようす。(2) 分量や寸法、時間などにゆとりがなく、目一杯 (= ちょうどいっぱい) であるようす。

説明

《語源》きっちり

用法

(1) 「～仕事をこなす」 (2) 「～いっぱいに間に合った」

- ・類似：(2) きつきつ, きゅうきゅう, ぎゅうぎゅう
- ・対語：(2) ゆるゆる

きつきつ kitsu-kitsu

意味

とても窮屈なようすや状態。サイズが小さいようす。

説明

《語源》きつい

用法

「～の服」「～に詰まっている」

- ・類似：きゅうきゅう, ぎゅうぎゅう, きちきち
- ・対語：だぶだぶ, ゆるゆる

きぬぎぬ 衣々 kinu-kinu

意味

(1) 衣を重ねて夜をともにした男女が、翌朝はめいめいの衣を着て別れて行くようす。(2) …転じて、男女・夫婦が別れること。(3) …転じて、離ればなれになること。

- ・類似：(3) はなればなれ, わかれわかれ

きびきび kibi-kibi

意味

とても快活な動作や態度、ようす。

説明

《語源》機敏

用法

「～した動き」

- ・類似：はきはき, しゃきしゃき, かいがいしい
- ・対語：ぐずぐず

きゃあきゃあ kyaa-kyaa

意味

夢中になり、はしゃいだり泣き叫んだりして騒がしい声。
用法
「～大騒ぎ」

・類似： わあわあ、ぎゃあぎゃあ

きゃっきゃっ kyat-kyat

意味

女性や子どもなどが戯れるなどして立てる、高く賑やかな声。

説明

さらに繰り返して言うこともあり、その場合は「きゃっきゃ・きゃっきゃ」となる。

用法

「～と大はしゃぎ」

・類似： きゃあきゃあ

きゃぴきゃぴ kyapi-kyapi

意味

(その流行した時代の) 今風で快活な、はじけるような若い女性。

用法

「～ギャル」

・類似： ぴちぴち

きゃんきゃん kyan-kyan

意味

イヌ(主に小犬)の泣き声。

用法

「犬が～吠える」

・類似： わんわん

きゅうきゅう kyuu-kyuu

意味

(1) 余裕やゆとりがない(汲々)ほどに強く詰め込んだり押しつけるようすや音。 (2) 軋んで鳴る音。

用法

(1) 「～の満員電車」「～ときつく締めつけた」

・類似： (1) きつきつ (2) きしきし

きゅうきゅう 炭々 kyuu-kyuu

意味

(1) 山がとても高いようす。 (2) とても危ないようす。 (3) 動きがとても早いようす。

きゅうきゅう 汲々 kyuu-kyuu

意味

(1) 生活や仕事などにゆとりがない状態やようす。 (2) …転じて、貧乏。

用法

(1) 「ただ〇〇に～としているだけ」 (2) 「生活は～だよ」

きゅうきゅう 急々 kyuu-kyuu

意味

とても急いでいる状況やようす。緊急。

きゅんきゅん kyun-kyun

意味

とても胸がきゅんとする(ときめきや興奮で引き締まる)ようす。

用法

「胸が～する」

きよきよ 去々 kyo-kyo

用法

「去々日」=昨日の前の日…、一昨日。おととい。「去々月」=先月の前の月…、先々月。「去々年」=去年の前の年…、一昨年。おとし。

・類似： せんせん

きよきよ 虚々 kyo-kyo

用法

「虚々実々」=虚実を強めていう語。

きょうきょう 恐々 kyou-kyou

意味

恐れかしこまるようす。

用法

「戦々～」 「～謹言」=(手紙の末尾の挨拶で)「恐れながら謹んで申し上げます」の意味。

・類似： おそろおそろ, こわごわ

きょうきょう 洵々 kyou-kyou

意味

水音が騒がしいようす。

きょうきょう 恟々 kyou-kyou

意味

恐れおののくようす。

用法

「人心～」

・類似： おどおど，びくびく，ドキドキ

きょうきょう 兢々 kyou-kyou

意味

とても恐れて安心しないようすや態度。

用法

「戦々～」

・類似： びくびく，ひやひや

きょときょと kyoto-kyoto

意味

(不安や恐れなどから) 落ち着きのなく視線をさまよわせるようす。

用法

「～とまわりを見回す」

・類似： きょろきょろ

きょろきょろ kyoro-kyoro

意味

(何かを探そうとするなど) あちこち見回すようす。

説明

不安で落ち着かない心理的なニュアンスもあるが、その場合は「きょときょと」の表現もある。

用法

「～と辺りを見渡す」

・類似： きょときょと

きらきら kira-kira

意味

(1) 断続的に光り輝くようす。 (2) とてもきらめいて美しいようす。 (3) …転じて、人の活

動や生きざまが輝いて(=いきいきして)いるようす。

用法

(1) “きらきらっ”とも。「～と光った」 (2) 「～光り輝く」 (3) 「目が～している」

・類似：(1) (2) こうこう, さんさん, けいけい (3) いきいき

きらきら kira-kira

意味

笑い声をたてるようす。

用法

「～と笑う」

・類似：けらけら

きらきら - しい 煌々しい kira-kira-shii

意味

(1) 光り輝いてまばゆい。 (2) きちんと整って美しい。 (3) 厳かで威容がある。威儀が正しい。

用法

・類似：こうこう

きりきり kiri-kiri

意味

(1) 物が軋む音。 (2) 強く巻き付けるようす。(軋みを伴って)よく回るようす。…転じて、せわしい／忙しいようす。かいがいしく立ち回るようす。 (3) 弓を強く引き絞る音やようす。 (4) 速やかな行動や動作。てきぱきした動作。 (5) 一般的に下腹部の痛みの表現。「激痛」以上の痛みを「疝痛」といい、この疝痛の痛み。

用法

(2) 「～舞」=相手の速い動きについて行けず、うろたえるようす。「～しゃんと」=とてもかいがいい。 (4) 「～と立ち働く」 (5) 「～と胃が痛む」

・類似：(1) きしきし, きゅうきゅう

きれぎれ 切れ切れ kire-gire

意味

細かく切れているようす。途切れることが多いようす。

用法

「～の声」「～に話す」

・類似：こまごま, へんぺん, とぎれとぎれ, ぶつぶつ, ずたずた

きんきん kin-kin

意味

非常に(周波数の)高い音。金属的で耳に鋭く響く甲高い声。

用法

「～した声」

・類似： きいきい

きんきん kin-kin

意味

とてもよく冷えているようす。

説明

よく冷えたものを食べるたり飲んだりすると頭に「キーン」とした痛みが走ることがある。このようすを形容した比較的新しい語。

用法

「～に冷えている」

・類似： ひえひえ

きんきん kin-kin

意味

金沢地方の高級魚。(正式名称不詳)

きんきん 近々 kin-kin

意味

(時間や期間の)近いうちに。遠からず。

用法

「～訪問したい」「～出発する」

・類似： ちかぢか, そうそう

きんきん 欣々 kin-kin

意味

とても喜んでいるようす。

用法

「～然とする」

きんきん 金々 kin-kin

意味

身形が立派なようす。みなりを立派にして、とりすましたり得意になるようす。

用法

江戸時代に用いられた流行語で、成金の振る舞いを言っている。

きんきん 僅々 kin-kin

意味

ほんの僅かな差／量／違いなど。

用法

「～ひと月の間に」

・類似：すれすれ，かつかつ